

学校教育目標

学ぶことを通して
自分を大切に、人を大切に、地球を大切に
生徒の育成をめざします。

学校概要	創立 75 周年	学校長 緒方 浩臣	副校長 熊澤 隆	3 学期制	一般学級：11	個別支援学級：3
	児童生徒数： 372 人	主な関係校： 元街小学校 北方小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	港中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <問題解決能力> <心身ともにたくましく生きる力>	港中学校 元街小学校 北方小学校	生涯にわたって主体的・創造的に生きる力を育もうとする子ども この地を愛し、この地から愛され、この地を創る子ども ・小中授業研究会は年2回を予定している。11月に小学校にて実施し、1月に中学校にて実施する。 ・ブロック教務主任会で、学校評価等の情報交換を行う。 ・ブロック内において、児童生徒指導や特別支援教育に関する研究を推進していく。

中期取組目標

- 自尊感情が高く、社会において活躍するために必要となる力を、計画的に身に付けさせる教育活動を展開します。
- ・個に応じた指導を充実させるとともに、変化する社会において自らを高めるために主体的に学ぶ力を育成します。
- ・体験を重視した教育活動を展開し、主体性や創造性を高め、自己有用感の高い生徒を育成します。
- ・相手の思いを受け止め、自分の思いを伝え、合意形成を図りながら目標を達成していく力を育成します。
- ・多文化共生の地域において、国際的な視野に立った考え方や行動力を育成します。
- ・夢をもち、その実現に向けて努力し、自信をもって、自己有用感高く、社会を生きる力を育成します。

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知 担当 学習指導部	①校内研修や小中一貫教育推進ブロック授業研究会において積極的に授業を公開し、個に応じた指導の充実を目指す。そして、言語活動の充実を図り、主体的に学ぶ姿勢を身に付けさせ学力の向上につなげる。 ②生徒の力を正當に評価するとともに、授業と評価の一体化を進め、授業改善を図る。
徳 豊かな心 担当 学習指導部・生活指導部	①生徒の自己有用感を高めるよう、道徳教育の充実を図る。 ②YPの導入を進め、生徒の実態をつかむとともに、豊かな心の育成を図る。 ③修学旅行事前学習の改善など、平和教育の充実を図る。
体 健やかな体 担当 保健安全指導部・生活指導部	①小学校との連携により食教育の充実を目指す。 ②横浜中心部に生活する生徒たちに、健全な成長に必要な運動に親しむ態度の育成を図る。 ③持続可能な部活動にすべく、本校の実情に合った改善を図る。
公開 多文化共生 担当 学習指導部・国際担当	①地域特性を活用し、国際感覚の醸成を図る。(横浜中華学院や山手中華学校との協力関係を進める) ②英語科において5ラウンドの授業を取り入れるなど、外国人が多く生活する先進的な地域の特性を生かし、コミュニケーション能力を高める取り組みを進める。
いじめへの対応 担当 生活指導部・いじめ防止対策委員会	①年間を通じていじめ防止研修を行い、職員のいじめに対する意識を高め、「いじめはある」前提のもとにアンテナを高くし、見逃さない指導を行うとともに、生徒に寄り添いながら信頼関係を大切にしたい指導を行う。 ②毎週開催するいじめ防止対策委員会において、常に情報を更新しながら共有していく。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 管理職・教務部	①校内研修の計画的な実施により、カリキュラムマネジメント力や危機管理対応能力などの向上を目指す。 ②経験年数の少ない教職員が多い中、メンター研修等を通して授業力や指導力を高める取り組みを行う。 ③校務分掌や業務内容などを見直ししながら精選を進め、全職員が生き生きと働ける職場環境を目指す。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	①支援を要する生徒に関する共通理解を深め、合理的配慮をふまえて保護者との連携に努める。 ②特別支援コーディネーターを中心として、組織的に対応する体制を構築し、スマイルルーム(特別支援ルーム)において個別の支援を行う。
地域連携・学校運営協議会 担当 管理職・教務部	①学校運営協議会が元街小学校との共同開催であるという特徴を活かし、義務教育9年間を見通したうえで地域の協力を得るとともに、地域で活躍する地域の子どもの共に育てる体制をめざす。 ②「北方小学校」及び「みなと総合高校」との連携をすすめる。
教育環境整備 担当 事務部・生活指導部	①持続可能な学校行事の在り方の研究をすすめ、子どもたちに必要な力を身に付けさせるとともに、働き方改革を推進する。 ②生徒に適した教育環境に必要な物品の計画的な整備を進める。
生徒指導 担当 生活指導部	①生徒・保護者との信頼関係を大切にしたい指導を展開する。 ②アンテナを高くし、見逃さない指導を意識するとともに、初期対応の充実を図り、素早い対応を行う。 ③関係機関と連携を強化し、有効活用を図る。